

H21 改善計画書

施策番号	局名	課名	職名	氏名	電話（直通）
18130	市民局	文化国際課	課長	笠原 恭子	042-769-8202
施策名					
国際化の推進					
平成21年度評価					
1次評価	2次評価	3次評価	2次評価意見		
A	A	B	H20改善計画書による修正等がなされていない。早急に改善計画書に則った対応をすること。		
			3次評価意見		
			友好親善だけではなく、実利の伴う国際交流について検討し、構成事務事業の見直しを検討されたい。		
3次評価意見に対する所管課の見解及び対応（具体的に）					
<p>本市が目指す国際交流の姿は、現在改定作業を行っている「さがみはら国際プラン」において基本理念となっている「世界に開かれた地域社会の形成」であり、これを実現するためには市民参加型の国際交流・協力が必要であると考えており、また、これまで交流を行っている分野のほかに、経済分野などの実利的な交流事業の展開も視野に入れた中で、これからの交流形態について検討する必要があるものと認識している。</p> <p>今後は、国際交流・協力事業において、市民主体の交流を更に広げていくために既存の制度の見直しを進めるとともに、情報提供の充実を図ることにより、早期実現に向けた体制を整えていく。</p>					
廃止・見直しを検討する事業					
事業名		事業の問題点と見直し等を行う内容			
国際交流事業		友好都市をはじめとした諸外国との交流事業について、市民が主体となった相互交流、協力を進めていく。			
現施策を引き継ぐ予定の新総合計画の施策における成果指標					
現施策を引き継ぐ予定の施策			国際化の推進		
成果指標	単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]	設定理由
日常生活の中で、市民と外国人市民が交流している割合	%	11.6	14.1	16.2	外国人市民の増加に伴い、国際交流ラウンジや各種イベントなどで、交流する市民が増加することにより国際理解が図られ、本市における多文化共生社会の進展の目安になると考えたため。
新総合計画での目標達成方法					
平成22年度から、改定後のさがみはら国際プランに基づき、プランに掲載される各事業を推進していくことにより、市民主体の国際交流の更なる実現を目指していく。					

工程表

項目名	2009 年度				2010 年度												2011 年度		項目に係る予算額、人員	
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	予算額 (単位：千円)	人員
具体的改善事項																				
さがみはら国際プランの改定	→																		450	0.7
課題の抽出と対応策の検討																				
国際化推進体制の整備					→														0	0.01
連絡調整機能を持つ市役所内組織の検討																				
国際プランに基づく施策の推進																			19,169	2.0
市民主体の国際交流事業の推進																				

市役所内組織での方策の検討

次年度事業への反映

当該年度事業への反映